



# KIMOTO REPORT

KIMOTOファンの皆様へお届けする最新情報

証券コード：7908

2025.5

## トップメッセージ

### KIMOTOファンの皆様

2025年3月期は、代表取締役3名による新たな経営体制でスタートし、7月には本店移転など当社にとって大きな転換期となりました。こうした内部変化に加え、依然として事業環境の不透明感が続く中、当社グループの連結業績は通期で増収増益となりました。

主な要因として、フィルム事業における輸送機器向け電子部品や通信機器の部材・工程材料として使用される製品が堅調に推移し、売上に貢献しました。また、高付加価値製品の販売強化、品質向上への継続的な取り組みや生産業務の効率化、低収益品の統合による製造原価の低減などにより、連結・個別ともに利益は大幅に向上しました。

デジタルツイン事業は全体として苦戦を強いられましたが、クラウドによる3Dモデル・属性管理システム開発の受注や点群データからの図面作成に関わる新規案件の獲得が売上に寄与しました。またコンサルティング事業でも、働き方改革や製造業DX分野で新規・継続契約の受注を獲得しました。Digital Twin事業部との統合を通じて組織営業を強化し、社会全体のDX推進に貢献してまいります。

技術本部では、2025年3月期に工場DXの推進により生産性向上を実現しました。加えて、新製品のアウトプット拡大に向け、設計・実験を含む開発プロセス全体の見直しを進めています。三重工場への実験設備移設に続き、高機能性液開発に向けた設備を茨城工場へ移設中です。新たなワークフローには課題もありますが、試行錯誤を重ね、アウトプット4倍に向けて全社を挙げて取り組んでおります。

KIMOTOファームでは、昨年より有機栽培への挑戦を始めました。海外に加え、都内の百貨店やオーガニック専門店でも取り扱っていたなど、販路も徐々に広がっております。おかげさまで、2024年産の「実りの百年米」はご好評をいただき完売となりました。すでに今年の

代表取締役社長

小林 正一



米作りも始まっており、秋には皆さまのもとへお届けできるよう、手間を惜まず丁寧に取り組んでまいります。

また、当社が長年にわたり取り組んできた働き方改革について、日本経済新聞社主催の「日経Smart Work大賞2025」中堅企業部門賞を受賞しました。このような形で評価されたことは大きな励みとなります。今後も当たり前を取り払い、一人ひとりが柔軟な働き方の中で輝けるよう改革を進めてまいります。

2025年3月期をもって第5次中期経営計画が終了し、新たに第6次中期経営計画を策定いたしました。第5次中期経営計画では、想定を超える外部環境の変化を受け、目標に対して大きな乖離が生じる結果となりましたが、これまでに得た経験と課題を糧に、次のステージに向けてKIMOTOグループ一丸となって取り組んでまいります。

KIMOTOファンの皆様には変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 決算ハイライト

(単位:百万円)

| 連結業績            | 2023年3月期 | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2026年3月期    |
|-----------------|----------|----------|----------|-------------|
|                 | 通期       | 通期       | 通期       | 通期(予想)      |
| 売上高             | 9,623    | 9,910    | 11,294   | 10,700      |
| 営業利益            | △626     | 214      | 1,340    | 1,100       |
| 経常利益            | △512     | 408      | 1,378    | 1,150       |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | △567     | 335      | 989      | 800         |
| 総資産             | 21,560   | 22,599   | 23,046   | —           |
| 純資産             | 17,693   | 18,156   | 18,836   | —           |
| 1株あたり配当(円)      | 年間<br>6  | 年間<br>6  | 年間<br>8  | 年間(予想)<br>7 |

### POINT

- 自動車のディスプレイや内装照明用途を中心に拡散製品が欧州、東アジアで堅調に推移。
- 東アジアを中心に、通信機器向けの部材や工程材料として使用される遮光製品や粘着製品が売上増加に貢献。
- 高付加価値製品の販売強化、継続的な品質の追求や生産業務効率化および低収益品の統合による製造原価低減により、収益を維持。

## サステナブルな働き方改革

### 働き方改革

「日経Smart Work大賞2025」  
中堅企業部門賞を受賞



### コンサルティング

働き方改革の実績を活かし  
DX推進をサポート

NIKKEI  
Smart Work  
Awards 2025 中堅企業部門

表彰式の様子



現場をラクにする



コンサル  
ティング事業



## 第6次中期経営計画 (FY2026-2028) - 私たちの新しい可能性への挑戦 -



創業の精神を受け継ぎながら、私たちは次なる挑戦へと踏み出します。人種や国籍、性別、学歴、年齢にとらわれることなく、多様な人々がつながり合うことで、KIMOTOの可能性は無限に広がっていきます。一人ひとりが未来に胸を高鳴らせ、化学技術・デジタル技術・体験とノウハウを活かしたワクワクで世界を満たします。

### 高機能材料事業

#### 高付加価値製品で応える新たなニーズ

| 異種基材               | 高機能性液           | エコ製品             |
|--------------------|-----------------|------------------|
| PETフィルムに代わる高付加価値基材 | 多様なニーズに合わせた液の設計 | 環境負荷の少ない製品への取り組み |

#### 高機能性フィルムの注力分野

| 医療                | 半導体              | エネルギー          |
|-------------------|------------------|----------------|
| プリントドエレクトロニクスへの展開 | 製造工程向け機能性フィルムの提供 | バッテリー工程用途の販売強化 |

### 経営数値目標 (FY2028)

|         |       |
|---------|-------|
| 連結売上高   | 133億円 |
| 連結営業利益  | 21億円  |
| 連結営業利益率 | 16%   |
| ROE     | 8%    |

### デジタルツイン事業

#### デジタルツイン技術を製造業DX・建築業DXへ展開

| 製造業DX                                                | 建築業DX                                                  |
|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 位置情報を含む各種データを収集・加工し、見える化・分析・AI学習に展開することで、製造業DXの推進を支援 | 人手不足・インフラ老朽化・BIM対応などの課題に対し、デジタルデータや3Dモデルの提供を通じて建設業界を支援 |

#### 伴走支援型コンサルティング

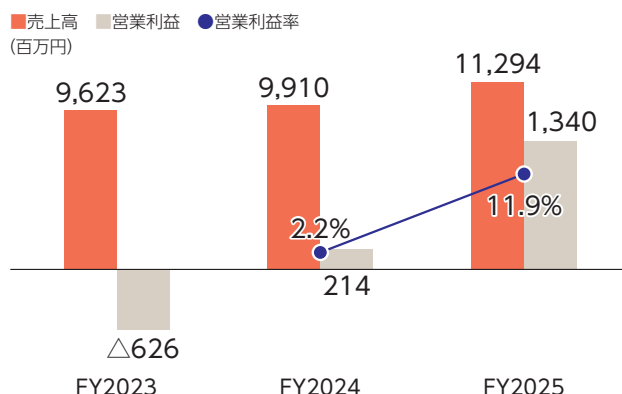
DX推進には、部門の壁を越えた従業員同士のコミュニケーションが不可欠です。私たちは、人を中心とした働き方改革を、伴走型コンサルティングで支援します。

## 第5次中期経営計画 (FY2023-FY2025) の振り返り

| 財務指標<br>[連結] | 2022年3月実績<br>(5次中計前) | 2025年3月計画<br>(5次中計) | 2025年3月実績<br>(5次中計) |
|--------------|----------------------|---------------------|---------------------|
| 売上高 (百万円)    | 12,235               | 16,000              | 11,294              |
| 営業利益 (百万円)   | 695                  | 2,300               | 1,340               |
| 営業利益率 (%)    | 5.7                  | 14.4                | 11.9                |

当初設定した目標に対し、実績は大きく乖離し未達の結果となりました。特に、コロナ収束後も中国を中心に景気停滞が続き、市場の需要が想定通りに回復せず、販売計画に大きな影響を与えました。しかしながら、収益性の面では高付加価値製品の販売強化、また製造原価低減の取り組みにより改善が見られました。

#### 連結業績 (FY2023-FY2025)



## 会社情報・株式情報 (2025年3月31日現在)

### ● 会社概要

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 名称  | 株式会社 きもと            |
| 設立  | 1961年2月9日           |
| 従業員 | 432名(連結) / 355名(単体) |

### ● 株式の状況

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 90,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 54,772,564株 |
| 株主総数     | 12,451名     |



www.kimoto.co.jp

KIMOTO

〒511-0411 三重県いなべ市北勢町京ヶ野新田450番地  
TEL: 050-3154-9000 FAX: 03-5480-8121



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



ミックス  
紙 | 責任ある森林  
管理を支えています  
FSC® C022915